

遊学館だより



Vol.14
2017. JULY

ご挨拶

理事長 加藤 真一



1904（明治 37）年に創設された金城遊学館を淵源とする金城学園は、建学の精神に「遊学の精神の涵養」と「良妻賢母の育成」を掲げて 110 年を超える歴史を刻んできました。この間、地に足の着いた教育を行ってきた本学園は、今日、金城大学、金城大学短期大学部、遊学館高等学校、金城幼稚園及び金城大学附属西南幼稚園を設置し、創立時の精神を継承して教育・研究活動や地域と連携した事業を推進しています。

本年、遊学館高等学校においては第一体育館を新築しました。従来よりも床面積を広くするとともに、利便性を向上させ、しかも、本多町校地の中でシンボリックな建築物となっています。この 4 月から学校行事や体育の授業、部活動などで大いに活用しています。

また、本校は、昨年 11 月にはノートルダム・サン＝シジスベール校（フランス・ナンシー市）と姉妹校提携を行うなど国際交流にも力を入れています。新しいものを取り入れながら、同時に、歴史と伝統を重んじて、時代の要請と社会のニーズに応える学園の創出に努めてまいりますので、ますますのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

校長 竹田 剛



今年度も、553 名という多くの新入生を迎えることができました。少子化が加速する中、本当にありがたいことだと考えています。これも偏に、日々の文武両面にわたる生徒たちの活躍が、学校全体の雰囲気明るくし、元気のある学校として世間から広く認められているおかげだと考えています。

これからも、生徒たちが遊学生としての“自信とプライド”を持ち、積極的に学校生活に取り組むことができるよう働きかけていきたいと考えています。そして、生徒、保護者、教職員がお互いに協力をし、生徒一人ひとりが生き生きともっと輝くことができる、明るく元気溢れる学校を目指して参りますので、今後ともご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

入学に際して、新入生には、孔子と顔回の会話を引き合いに出し、人間が社会生活を営む上で一番大切なこととは何かについて話したので紹介いたします。

孔子の考える最高の徳とは、「恕」であり、「互いに許し認め合い、自分が嫌だと思ふことは他人に対しても行わないこと」と顔回到答しています。私自身も、SNS が発達し、それによるトラブルが頻発している現代では、このことが生活する上で何よりも大切なことだと感じています。新入生には、この「恕」という言葉を忘れず、これから本校で出会う多くの同級生・上級生と人の和を大切に、お互いに励まし合い、高め合い、好ましい友人関係を築いていって欲しいと話しました。また、それに伴い内面を磨くことの大切さについても触れました。外見を磨くことも、もちろん大切なことではありますが、第一に内面を磨き、きれいな魂を持った人物になることを目指して欲しいこと。外見の美しさは時間とともにいずれは朽ち果ててゆくものですが、内面の美しさは時間が経ったとしてもいつまでも輝き続けるものだと言え、「徳」や「品格」を備えた人物に成長してくれることを願いました。

ご挨拶

育朋会会長 塩田 整

野球少年も父親と 3.11 復興支援で親離れ。

大学生の夢は、昨年より国際教養学部。春休みにはニューオリンズで現地集合の一人旅。

陸地ではハリケーンの爪痕にミシシッピ川の氾濫。整理とペンキ塗りのメンバーは現地の若者と仏十名・台湾日本各一名。頼りはスマホに電子辞書で二か月間の復興支援泥んこ時代。

週刊ダイヤモンドには、統計学・プログラミング・Excel・AI とデータ強化の転機予告がされています。

次なる夢は北欧の建築と家具の勉強に。

ごく普通に LINE をして、ごく普通にツイッターでつぶやく、どこにでも居る様な若者なのに、ネット社会の話題 AI を活用しながら、自由に羽ばたく将来に期待。



主要な行事予定（平成29年4月～30年3月）

- | | | | |
|----|---|-------|---|
| 4月 | 入学式、始業式、新任式、クラブ紹介
健康診断、身体測定
校内研修（1年生）
内科検診、歯科検診
スタディーサポート
生徒指導講話
スポーツテスト
避難訓練
高大連携企画 マナー講座
面談週間
遠足
「進路の手引き」説明会 | 9月 | 始業式
学園祭
県高等学校新人体育大会（前期）
前期生徒総会
大学・短大見学会（1年生）
金城体験講座（1年生） |
| 5月 | 遊学講座開講式
進路ガイダンス
保護者対象進路説明会（1、3年生）
中間考査
育朋会総会 | 10月 | 面談週間
保護者対象コース選択説明会（1年生）
中間考査
進路講話 |
| 6月 | 県高等学校総合体育大会
県高文連総合文化祭
体育祭 | 11月 | いしかわ教育ウィーク
創立記念日
県高等学校新人体育大会（後期） |
| 7月 | 期末考査
マイナビ進路行事
金城体験講座（金城コース2、3年生）
文化教室
創設者お墓参り
性教育講話
終業式、保護者会、三者懇談会
コース体験入学
夏期補習 | 12月 | 期末考査
金城体験講座（金城大学コース2年生）
球技大会
終業式、保護者会
冬期補習 |
| 8月 | 夏期補習
部活動体験入学
全学年登校日
課題試験 | 平成30年 | |
| | | 1月 | 始業式
課題試験
推薦入試 |
| | | 2月 | 一般入試
期末考査
遊学講座閉講式、仮終業式（3年生）
面談週間
卒業式予行、同窓会入会式 |
| | | 3月 | 卒業式
修学旅行（2年生）
遊学生的主張コンクール、後期生徒総会
球技大会（1、2年生）
終業式、離任式
入学説明会 |

教育の特色

生徒の志望に対応した3コース

コース	教育の特色	卒業後の進路目標
特別進学 コース	1 年次から受験教科の内容を深め、2, 3 年次は少人数習熟度別授業や7 限授業、午後6 時までの放課後学習や午後8 時までのスペシャル講座への参加（全校生徒対象）、遊学講座における受験講座の選択等、志望に応じた大学入試科目を中心に授業を展開しています。	金沢大学をはじめとする国公立大学や難関私立大学への現役合格
一般進学 コース	文系進学、理系進学、文系実務クラス（現2 年からは文系、理系、教養クラス）で構成し、幅広い進路に対応します。生徒が主体的に参加するアクティブラーニングも取り入れながら、学力の充実を図っています。また、学習面だけでなく、部活動や生徒会活動、ボランティア活動等にも一生懸命取り組んでいます。	大学、短大、専門学校、就職など、一人ひとりの個性に合った進路選択
金城大学 コース	金城大学の社会福祉学部・医療健康学部・看護学部、金城大学短期大学部の幼児教育学科・美術学科・ビジネス実務学科への進学に向け、それぞれの基礎を学びます。大学キャンパスでの体験講座など、定期的に交流を図っています。	金城大学及び金城大学短期大学部への進学

生徒のやる気を応援する学習サポート体制

= 遊学スペシャル講座 =

月～金曜日は午後8時まで、土曜日は午後5時まで

教員の指導のもと、学校で静かに自学自習できる学習環境が整っています。（自分の都合のいい時間に参加でき、部活動終了後の参加や学習塾との併用も可能です。）



さらに学力を伸ばしたい、そして目標とする進学先に進みたいという気持ちは、誰もが持っているものです。そのためには、授業をしっかりと受けることはもちろんのことですが、一番大切なことは、自学自習（自分でじっくりと考える）時間を多く取り、学習内容を確実に定着させることです。

蔵 修 息 游

遊学講座

遊学講座は、「遊学の精神の涵養」を建学の精神に掲げる本校独自の取り組みとして、今年で26年目を迎えました。“異次元・異空間の学び”、“主体的な学び”をキャッチフレーズに、年間24回の土曜日に実施されています。生徒は60余りの講座から、学年やコースに関係なく好きな講座を選択します。講座は、資格取得、受験対策、スポーツ・芸術、趣味・教養など様々です。講師は本校教員だけでなく、校外からも一流の先生方をお迎えしています。また、学びの場を広く校外にも求め、金城大学、老人ホーム、ゴルフガーデン、クッキングスクールなどに加え、昨年から“街なかキャンパス”と称して北國新聞会館・香林坊ラモードスタジオ・北国会館香林坊プラザでも講座を開設しています。毎年選ぶ講座を変えるもよし、3年間同じ講座を選んでグレードを上げるもよし、生徒達は自分の個性やニーズに合わせ、主体的な姿勢で受講することが求められます。保護者や卒業生が特性を生かして教壇に立たれることもありますので、今後も魅力ある講座を増やし、この特色をさらに発展させたいと考えています。

◎ 今年度の主な開設講座

国語検定、点訳、施設実習、理系数学、医療・看護への道、ゴルフ、ビームライフル、弓道、空手道、フットサル、コーフボール、ピアノ実技演習、美術入門講座、書道、英語検定、英会話、中国語、韓国語、フランス語、きもの着装、手編み、クッキング、茶道、いけばな小原流、パソコン検定、珠算、ペン字、硬筆書写検定、マナー検定、ストリートダンス、カポエイラ、ステンドグラス、囲碁、お箏、菜園づくり、造形、楽しいクラフト講座、水引art、写真、ヨガ、太極拳、セラピー入門、フラダンス、洋楽ポップスコラス



ガイドブック表紙（書道）



いけばな小原流

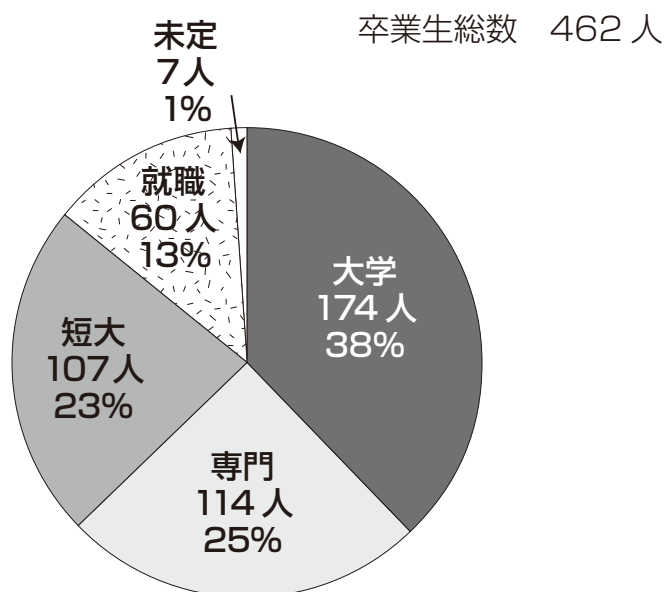


きもの着装



ゴルフ

平成28年度卒業生の進路状況



主な進路実績

【国公立大学】

筑波、富山、北海道教育大岩見沢校、石川県立看護

【私立大学】

金城、金沢工業、金沢星稜、北陸、金沢学院、北陸学院、中央、明治、東京理科、芝浦工業、東洋、駒澤、専修、國學院、日本、創価、神奈川、東海、愛知淑徳、中京、立命館、佛教、京都産業、京都外国語、龍谷、関西外国語、近畿

【短期大学】

金城、金沢星稜女子、北陸学院、富山福祉、新渡戸文化、高山自動車、大垣女子、四天王寺、大阪成蹊

【専門学校】

石川県立看護専門、こまつ看護、金沢看護、金沢リハビリ、国際医療福祉、金沢医療技術、金沢医療事務、大原医療福祉・製菓 & スポーツ、大原簿記法律観光、金沢科学技術、歯科医療、国際ペット、石川県調理師、金沢調理師、石川県理美容、金沢美専、スーパースイーツ製菓、文化服装学院、北信越柔整、国際ホテル & ブライダル、金沢文化服装、ファースト学園、代々木アニメーション、ポリテックカレッジ石川、七尾産業技術、石川県立保育
他県外専門学校

【就 職】

能美市消防本部、自衛隊漕候補生、自衛官候補生、カナカン、高松機械工業、金沢村田製作所、小松精練、トランテックス、カジレーネ、ニチイ学館、ライフアトラス、平田道路、志乃丘商事、岸建販、ホクチン、フェニックス、金沢材木協同組合、米沢電気工事、宮丸精密金型、中日新聞北陸本社、ウィルコーポレーション、コマクソン、魅金、北陸電気製作所、中田屋、加賀電化工業、吉田司、MX モバイリング、芝寿し、四十萬谷本舗、十字屋、マリート、かづ美、日本グラフィック、ホテル日航金沢、百楽荘、加賀屋サービス、クール金沢、レガシーホールディング、マルナカ商会、はなみずき、福志会松任、en、トヨタ自動車、ユタカ技研、タクティブ

遊学館高校の進路指導

遊学館高校の進路希望は、別に示した進路状況からもわかるように就職、専門学校、短期大学そして4年制大学と多岐にわたっています。進路指導部は、学年会と協力しながら各生徒の進路目標の実現のために必要な支援に取り組んでいます。具体的な活動として、金城大学との交流授業や就職講座、看護希望者説明会、保護者対象進路説明会などの学校行事の企画、運営を行っています。その他に、本校独自の活動として放課後に図書室を夜8時まで開放して自学自習ができる「スペシャル講座」を行っています。進路指導部は、一人でも多くの生徒が進路目標を実現できるように、これからもしっかりサポートしていきたいと思います。

【卒業生からの近況報告】

石川県立看護大学 看護学部 1年 稲垣 遥

私は現在、石川県立看護大学看護学部の1年生です。在籍学生数は、1学年80人程度の比較的少人数の看護大学です。大きな特徴として、地域との関わりが多く、地域に貢献しながら密着した看護を学ぶことができます。

それでは、私の大学生活についてお伝えしたいと思います。

私が通う大学には、看護演習や実習など実践的なカリキュラムがたくさんあり、友達とお互いにアドバイスをし合って成長を確認しながら、大学生活を送っています。つい最近は、能登への実習に行ってきました。そこでは、地域の方々への簡単な体力測定や交流を通じて、生活習慣病の予防についての話をするなど、学んだ知識を最大限に生かしながら実習をしてきました。私が特に印象的だったのは、その地域の学童施設を訪問し、ゲームをしながら健康的な生活についてのアドバイスをしたことです。私は養護教諭になることが夢なので、子どもたちの健康にはどのような特徴があるのか興味がありました。学生が話す色々なアドバイスを子供たちが目をキラキラさせながら聞いてくれて、とても嬉しかったです。子どもたちと楽しく健康について学び合うことができ、夢に一步近づいたような気がしました。

また、私は大学生になったこの春から一人暮らしを始めました。最初はちゃんと生きていけるのかとても不安でしたが、今では最高の一言につきます（笑）。特に自炊に関しては、むしろ料理が大好きになり、毎日の楽しみになりました。きっと大学生になってから一人暮らしを始める人は少なくないと思います。心配事も多いとは思いますが、やってみると楽しくて充実すると思いますよ！

まだ大学生活を始めて1年も経っていませんが、どんなことをするにも、楽しさや嬉しさを感じることができるよう、常に前向きに攻めることが大切だと思っています。もちろん、真面目に勉強しなければならないこともたくさんあります。しかし、初心を忘れずに楽しく大学生活を送ることが、夢の実現に繋がると思うので、これからも頑張りたいと思います！

遊学館高等学校 新体育館 完成

昨年の春から 1 年間建て替え工事のため使えなかった体育館が、今春 4 月に完成しました。生徒は新学期から新しい体育館で授業や部活動に励んでいます。

新体育館は前の体育館よりも広く、1 階のアリーナでの単一競技ではバレーボールコート 2 面（中央に一面もとれる）、バスケットコート 2 面、バドミントンコート 6 面、剣道 1 面及びバトントワリングなどに使う大きい鏡（6m×6m）などがあります。また式典等に使うため体育館館内に空調機の設備も完備されました。2 階には体育館一周のランニングロードも出来、生徒が絶えず使用しています。また観覧席（可動式）も後方に設置されました。



体育館入口



体育館入口内部



ロッカールーム



2 階ランニングロードと
観覧席（可動式）

留学生を迎えて

駅伝競走部 尾谷 力

皆さん、こんにちは。本校は国際化の推進を学校方針の一つに加え、昨年 11 月にフランス・ナンシー市のサン＝ジズベール校と姉妹校提携を結びました。今後さらに国際化が進むことが予測される中で活躍できる人材を育てるためということが理由です。

その取り組みの一環として留学生を迎えることになりました。名前はケニア共和国出身のカランジャ・ジョスファット君です。ジョスファット君自身も日本への留学を希望していたようで、紹介を受けて本校で留学生として引き受けることになりました。

彼の目標は、高校 3 年間で日本語と日本の高等学校卒業の資格を習得し、日本の会社に就職することだそうです。そのために、特技である長距離走を通じて、日本語の習得だけでなく、日本の文化や習慣を学んでいます。

ジョスファット君と寮で生活を共にする生徒たちは、英語でコミュニケーションを取り、あわせて日本語を教え、なんとか意思の疎通をはかろうと頑張っています。このやり取りを見ていると、本当に微笑ましく、ジョスファット君自身も、また在校生たちも 3 年後の成長が楽しみです。

真の国際化とは単に外国語が喋れる、他国の習慣に沿って生活できるというだけでなく、異文化を理解し、お互いの文化を尊重しあえることではないかと考えています。学問として学ぶのではなく、留学生の生活を通じて、本校の生徒たちが、真の異文化理解について深めてくれれば本当にうれしいです。

そして、本校を留学先として選んでくれたジョスファット君の人生にとって、本校での 3 年間で意義深いものになるよう我々もサポートしていきたいと考えています。今後とも、ご支援よろしくをお願いいたします。

生徒会活動

前期生徒会 会長 山下 嘉一

私たち前期生徒会は、男子 1 人、女子 3 人で活動しています。主な活動内容は、新入生対象の部活動紹介、遊学講座開講式での挨拶、総体・総文・百万石パレードの激励会、体育祭・学園祭の企画・運営などがあります。

6 月に行われた体育祭では、3 年生が中心となり全学年が一致団結して最高の盛り上がりを見せました。グラウンドには、生徒たちの熱気と笑顔があふれ、時には生徒とともに熱くなる先生方、温かく見守る保護者の方々が見られました。そして遊学館高校ならではのユーモアと活気、強い絆が伝わってきた一日でした。

また、9 月に行われる学園祭では、新しく生まれ変わった第一体育館での発表などもあり、ここから遊学館の新たな伝統がつけられるよう、生徒会一同、特に力を入れて企画・運営に取り組んでいます。個性豊かな生徒たちが作りだす、これまでにない楽しい学園祭にしたいと思っています。

生徒会活動は生徒や先生方、一人一人の力が必要です。その力を生徒会役員が一つにまとめ、遊学館の歴史に新たな 1 ページを刻めるように努力していきます。

購買 & 食堂だより

購買・食堂スタッフ一同

暑いときには冷たいもの・寒いときには温かい食事を…勉強や部活動を頑張っている生徒さん・そんな生徒さんをサポートしてくださっている先生方のおなかところを満たせるように購買・食堂スタッフも頑張っています！

購買では、勉強に必要な学用品をはじめ、毎日おいしいおにぎりやパンを用意しています。特に人気の「から揚げパン」やクリームがたっぷり入った「チョコバナナ」シリーズはお昼時



間を待たず

に完売することもしばしばあります。

食堂では、この夏リニューアルしましたカレーやアツアツのラーメンが人気です。ラーメンは曜日ごとに味が違いますので、何度も足を運んでみて下さいね。また、トッピングも充実していますので自分だけのオリジナルメニューも楽しめますよ。

現在は購買・食堂ともに夏季限定商品を用意しています。この機会にみなさん立ち寄ってみてくださいね。スタッフ一同、お待ちしております！



新任教員紹介



山田 麻奈■事務室

今年度から事務室に配属となりました、山田麻奈と申します。生まれも育ちも金沢で、ご縁があって本校で勤務させていただきます。

生徒の元気な挨拶で、私の一日は始まります。挨拶ひとつをとっても、本校の生徒の活発さや礼儀正しさは十分に伝わってきます。そんな素敵な挨拶ができる生徒の皆さんに、親しみを持ってもらえるような事務職員になることが私の目標です。生徒や保護者のみなさんが安心して学校生活を送れるよう、誰よりも遊学館高校に詳しい職員となれるよう、日々精進していきたいと思ひます。

今年入学した生徒のみなさんと同じく、遊学館においても、また社会人としても一年生です。不慣れなことも多いですが、どうぞよろしくお願いいたします。



山岡 弘樹■学生寮寮監・サッカー部コーチ

今年度から寮監兼サッカー部コーチを務めさせて頂いている山岡弘樹と申します。

私自身、この遊学館で高校生活を過ごし、地元の三重県を離れ寮生として3年間サッカー部で活動していました。私が思う遊学館とは、「この先の人生で本当に大事な事を学べる場所だ」と思ひます。大事な事というのは、勉強はもちろんですが、友人や仲間の大切さ、人として当たり前の礼儀も私は人生において大事な事だと思ひています。遊学館はそういった仲間との絆の大切さや、社会に出るための当たり前の礼儀を3年間通してしっかり学び、自分を成長させてくれる場所です。私も3年間、楽しいことも、辛いことも色々含めてこの学校で多くの事を学び、寮生活では部活関係なく本当に全員が家族のように支え合ひの生活等の経験が自分を成長させてくれたと思ひています。

今年度からまたこの学校に職員として戻って来られた事に感謝し、教わる立場から教える立場にはなりましたが、自分自身まだまだ一人前とはほど遠いので、自らも学ぶことを忘れずに自覚と責任を持って務めていけるよう頑張ります。

よろしくお願いいたします。



石垣 孝芳■地歴・公民

今年度から2年生の日本史・地理と、3年生の公民演習を担当しております石垣と申します。昨年度は公立高校で勤務しておりましたが、このたびご縁をいただきまして遊学館高校で勤務させていただきます。

出身は愛知県で、大学進学の際に金沢に引越してきました。金沢の歴史あふれる街並みにひかれ大学卒業後も金沢での生活が続いております。まだ遊学館高校に着任して間もないですが、勉強や部活・講座、学校行事などさまざまな活動に精一杯打ち込む生徒の姿を見て、本当に元氣と活氣にあふれている学校だというのが第一印象でした。生徒の元氣な挨拶に私の方が元氣をもらう機会も多く、本当に遊学館高校で勤務することができてよかったと感じております。

授業では、ただ暗記すれば良いという学習ではなく、「なぜこのような事件が起きたのか。なぜこのような政策をおこなったのか。」といった「なぜ」を考えることを大切に、より多くの視点で物事を考えられるような思考力を身につけていってほしいと考えております。

生徒の良さをたくさん見つけ、たくさん引き出し、授業を通して皆さんの夢を実現できるように全力で指導していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。



井上裕里加■英語

今年度より1、3年生の英語を担当しております井上裕里加と申します。

今年の3月に大学を卒業し、ご縁もあり、遊学館高校で勤務させて頂くことになりました。何度も壁にぶつかることがありますが、遊学館の生徒との楽しい時間を通して、とても有意義な時間を過ごさせて頂いております。

元々私は、英語教師という職業に就くとは考えていませんでした。とりあえず大学に行き、適当に就職出来れば良いと思ひていました。そんな時、進路についてアドバイスをくれたのは高校の先生でした。「自分のやりたいことを探みなさい。」簡単なことですが、夢を持つことが出来ていなかった私にとって、考えさせられた一言でした。そこから、得意科目だった英語を中心に勉強し、留学等も通して、英語が好きな学生を増やしたいという夢に辿り着きました。英語好きを増やすことを前提に、自分の経験を活かして生徒の進学の手助けになれるよう努力したいと思ひます。

どうぞよろしくお願いいたします。

**杉浦 美紀■数学**

1年生と2年生の数学を担当しております杉浦美紀と申します。
昨年までは、羽咋市にある国立能登青少年交流の家で働いていました。本校に勤務することが決まってからは、交流の家を利用する遊学館の方々を心待ちにし、頑張っている姿を見てうれしく思っていました。今、一緒に学校生活を過ごしながら、輝く瞬間を見ることの楽しさと喜びを感じております。
数学は、「わかる」ことと「できる」ことは違うと気づかせてくれます。授業で解けた問題がテストでは解けなかったと思ったことはありませんか？授業で学んだことを、自ら練習問題に取り組むことで「できる（解ける）」ようになる教科です。数学が苦手な生徒もいるかと思いますが、「わかって」「できる」ようになるために一緒に頑張りたいと思っています。よろしく願いいたします。

**高橋 裕美■英語**

ずっと前にこの遊学館高校で教員のキャリアをスタートさせました。別の高校で長く勤務していましたが、再びご縁をいただきこの学校に戻ってくることができて本当にうれしく思っています。以前と変わらない旧校舎を懐かしいと思うと同時に、新しくできた立派な校舎に目を見張りました。そして、生徒の皆さんの笑顔は以前と変わらず私に元気をくれます。気持ちのいい挨拶が飛び交う様子は、この学校のとても素晴らしいところだと思います。
残念ながら「英語は嫌い」「英語は苦手」という声をよく聞きます。積み重ねが必要な教科なので、一度苦手意識を持ってしまうと急にできるようにはなりません、できるところから積み直せば必ずできるようになります。少しでも「英語が好き」という生徒が増えるように、授業を工夫して皆さんの力になれるようにがんばりたいと思います。よろしく願いいたします。

**田中恵梨子■国語**

今年度から国語を担当しております田中恵梨子と申します。
昨年度は、星稜高等学校に勤めておりましたが、ご縁がありこの遊学館に勤務することになりました。遊学卒業生として、お世話になった先生方の側で学び、そしてみなさんと共に成長していきたいです。
「国語」と聞くと、勉強しなくてもなんとかなりそうな教科と思われがちです。しかし、多くの言葉を知ることは、自分の気持ちを表現するレパートリーが増えることに繋がります。言い換えれば、言葉は「気持ちの名刺」になるのです。
嬉しい、悲しい、イライラ、沢山の感情が私たちにはありますが、それが正確に相手に伝わるかどうかは、自分の口から出る言葉で決まってしまう。私たちが普段の生活の中で使う言葉は、自分自身を表す鏡ということです。
「自分は十分コミュニケーションを取れているし…」と思う人も居るかもしれませんが、多くの表現に触れ、気持ちの名刺と一緒に増やしていきましょう！どうぞよろしく願いいたします。

**中山 泉■保健体育**

今年度から保健体育科を担当しております中山泉（なかやまいづみ）と申します。昨年度までは、広島県の小学校で勤務しておりました。故郷の石川県に帰ってくる事ができるご縁をいただき、大変嬉しく思っております。
私は小学校3年生からバスケットボールを続けて今年で20年目になり、私にとってのバスケットボールはこれからもかかわっていききたいと思えるスポーツになりました。生徒の皆さんには、体育で他者と関わったり自分と向き合ったりしながら、運動の持つ魅力に気づき、体育科の目標のひとつである「生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎」を身に付けてほしいと思います。また、高校生のこの時期は、心も体も大人に近づく不安定な時期を過ごしています。そのような生徒の気持ちに寄り添いながら、保健の授業を進めていきたいと思っています。未熟なところも多くありますが、これからどうぞよろしく願いいたします。

**増田 暁■理科**

今年度から理科を担当しております増田と申します。この度ご縁をいただき、遊学館高校の教壇に立たせていただいています。
私は高校時代アメリカンフットボール部に所属していました。当時の部活のコーチが「練習は時間と質の掛け算である」とよく言っていました。どんなに時間をかけてもだらだら練習しては無駄だし、どんなに良い練習でも時間が0なら意味がないということです。高校生活も同じではないでしょうか。質の悪い時間をいくら重ねてもよい高校生活とは言えないでしょう。どんなに質が良くても、それが一瞬では中身が伴わないでしょう。充実した時間をたくさん過ごすことで充実した高校生活になるでしょう。
高校で過ごす短い時間ですが、記憶に残る日々を過ごすために、いかなる時も全力で過ごすべきだと思います。全力で勉強し、全力で部活をし、全力で交友関係を築く。これが大事ではないでしょうか。一生懸命な生徒は一生懸命フォローします。
どうぞよろしくお願いします。

東京修学旅行

上田 成修



3年生として高校生活の思い出を振り返ってみると、いちばんに思い浮かぶのは、やはり2年生の時にみんなで行った修学旅行です。私たちは3泊4日の日程で東京コースに出発しました。

1日目はまず、金沢駅のもてなしドームに集合しました。少し時間に遅れそうな人もいましたが、無事に全員そろって出発することができました。移動は北陸新幹線の「はくたか」だったので、快適な時間を過ごすことができました。そして東京駅に着くと、バスガイドの方と一緒に浅草寺、東京スカイツリー、お台場と回りました。どの場所でも自由時間をもらえたので、自分たちで自由に行動ができて、とても楽しかったです。とても有意義な時間を過ごすことができました。

2日目は、あらかじめ各班で計画して準備をした自主研修でした。計画通りにいかないハプニングも多々ありましたが、仲間同士で支えあい乗り切ることができました。友達の大切さをあらためて実感しました。

3日目はディズニーリゾートをディズニーランドとディズニーシーにわかれて楽しみました。気の知れた仲間と一緒に夢の世界を堪能することができました。

最終日となる4日目は、上野動物園とサンシャイン水族館へ行き、動物や生き物の素晴らしさを学ぶことができました。

今回の修学旅行では時間や規則を守る大切さを学びました。そして、私たちが楽しんでいる裏では、多くの人々が働いていることを知りました。引率してくださった旅行会社の方々や、先生方には言葉では表すことができないくらい、感謝の気持ちでいっぱいです。そして何より、修学旅行に行かせてくれた家族に対しても感謝の言葉を伝えようと思います。

高校生活も残り1年を切りました。勉強でも部活でも悔いの残らないように、今回の経験を踏まえて頑張っていこうと思います。

九州修学旅行

浦岡 由布

4泊5日の九州修学旅行は長崎、福岡、大阪を旅しました。初日は長崎原爆資料館へ行きました。「原爆は恐ろしいもの」という何となくの知識とイメージしか持っていませんでしたが、実際に資料館で当時の映像や写真を見ることで、戦争というものをリアルに感じるすることができました。また、長崎の街には原爆の痕などが残っていて、今ある平和を身にしみて感じるすることができました。

2日目は長崎自主プランでした。中華街やグラバー園へ行き、おいしい長崎名物をたくさん味わってから、ハウステンボスへ行きました。私の中で一番思い出に残っているのは、このハウステンボスの観覧車で見た夜景です。このハウステンボスのイルミネーションは、全国イルミネーションランキング総合エンターテイメント部門なんと4年連続1位で、まさに光の国にいるようで今でもこの感動は忘れられません。

3日目は、太宰府天満宮と明太子工場へ行き、福岡自主研修で締めくくりました。太宰府天満宮では、普通のおみくじだけでなく、恋みくじというものがあり、男子も女子も盛り上がりながらおみくじを見せ合っていて、青春だなと思いました。

4日目はUSJを1日堪能して、気の知れた友達と乗るアトラクションほど楽しいものはないなと思いました。

最終日は、大阪の街で本場のたこやきを食べたりアメリカ村や道頓堀の雰囲気味わって、修学旅行は無事に終わりました。こうやって修学旅行を安全に楽しく終えることができたのも、私たちが楽しんでいる裏で、多くの方々の支えがあったからだと思います。本当に感謝しています。

この修学旅行は私にとってとても濃い5日間でした。こんなに充実した5日間は、これから先めったにないでしょう。一生の最高の思い出です。



クラブ活動報告

■バトントワリング部

顧問 松田 淳

私たちバトントワリング部は、1977年（昭和52年）創設、今年で40年目を迎えます。現在の部員数は3年生8名、2年生10名、1年生13名の総勢31名です。

昨年の夏の全国大会「ジャパンカップ全国高校選抜大会」では4年連続優勝（4連覇）、冬の全国大会「バトントワリング全国大会」では28年連続北陸代表として出場し、通算5回目の全国優勝・日本一へ挑戦しましたが、結果、通算12回目の金賞の全国2位でした。この夏冬の全国大会における“日本一への挑戦”は、代々の部員たちから脈々と継承されている私たちの大切な伝統であり絶対的な使命となっています。

そのために、私たちは「石川から全国へ！」を合い言葉に、挑戦と向上を日々のテーマとして練習に取り組んでいます。チームのモットーは“顔は笑顔、心はひとつ、めざすは一番”です。いつも前向きにベストを尽くす姿勢が遊学館バトンの信条です。

全国大会への挑戦と同じく大切にしている活動が校外での出演です。幼稚園・小中学校・社会福祉施設などの行事、各種式典や開会式での演技披露、各地でのパレードなど、年間40回近くの出演を通して多くの方々と交流を図り、温かい笑顔で心を結んでいます。

私たちは部活動を通して、周囲の方々への挨拶や礼儀を大切に気くばりや心くばりができる人間、卒業後にいろいろな社会で役立つ人間になれるよう、自分自身の人間性を高めることを目標としています。

毎年、バトントワリング未経験の新入生が入部してきてくれます。経験者でないと入部できないということは決してありません。入部してからが勝負です。時間がかかっても必ず全国大会に出場できるレベルまで育成します。フロアやパレードでは華やかなバトントワラーも日々の練習はとても地道です。反復練習の毎日です。そのコツコツと努力を継続することこそが、日々の高校生活を充実させるための大切なリズムにもなっています。部員たちは日々とても多くの学びを部活動から得ています。

街角で、ホールで、体育館で、バトントワリング部の演技をご覧になることがありましたら、その時はぜひ「遊学か〜ん」とご声援ください！彼女たちの笑顔は元気百倍、より一層輝くことでしょう。よろしくお願いいたします！



9月：Japan Cup 2016 全国高校選抜大会
4年連続全国優勝、V4達成！東京都知事賞受賞（東京体育館）



12月：第44回バトントワリング全国大会
惜しくも全国2位！通算12回目の金賞（千葉幕張メッセ）

■男子卓球部

顧問 植木 大

遊学館高校卓球部の指導理念は「良夫賢父」です。これは女子校（金城）だったころの建学の精神である「良妻賢母」にかけたものです。選手たちは、いずれ結婚して夫となり、子どもが生まれたら父親になります。そのときに、良き夫、賢き父になってほしい。「卓球を通して、将来、社会で通用する男に育ててほしい」というのが私の指導テーマです。「良夫賢父」のテーマのもと、部員18名は「日本一」を目指し、365日の練習に努力しています。その結果、石川県総体では20年連続優勝し、インターハイへの出場権を獲得しました。女子卓球部とのアベック20年連続となり、今年は卒業生が記念祝賀会を開催してくれます。福島インターハイでは、卒業生らが応援にも駆けつけてくれると聞いています。インターハイでは、応援に恥じぬよう遊学館らしいプレーで優勝を目指します。そのためには、多くの方々の協力やご支援が必要となります。保護者や学校、チームメイトなど、たくさんの方々に感謝の気持ちを持ち、お世話になった方々へ、優勝という恩返しができるよう努力していきます。

■女子卓球部

顧問 安達 健佑

女子卓球部は、現在 9 名の部員で活動しております。今年度は、石川県総合体育大会（インターハイ予選）で 20 年連続優勝を達成することができました。このような結果を残すことができたのは、日頃から応援して下さる皆様のおかげです。



目標である上位進出、そして「日本一」を目指して部員と共に精進したいと考えております。

また、部活動だけでなく、学業面や学校生活等においても他の生徒の模範となれるような人物を目指し、日々指導しております。

これまでの先輩方が作りあげてきた良き「伝統」をさらに発展させ、さらなる飛躍をしたいと考えております。応援よろしくお願いいたします。

■男子バレーボール部

顧問 辻元 友視・津田 拓揮

男子バレーボール部は、現在マネージャーを含め 21 人で活動しています。高校からバレーボールを始めた部員も多く、個性豊かなメンバーで切磋琢磨しています。

新体育館が完成し、部員も高いモチベーションで練習していますが、なかなかうまくいかないことも多く、技術向上にはまだまだ時間がかかりそうです。自分の思いが仲間に伝わらなかったり、ケガで思うようなプレーができないこともあり、チームがなかなかまとまらなかったこともあります。



それでも今こうやってバレーボールができる喜びを、部員達は忘れずに取り組んでいると思います。先日行われた夏の高校総体では最後まであきらめずに、3 年生を中心にいいバレーボールができたと思います。何より、心の成長が見られた大会となりました。

新チームも始動し、各自目標をもって取り組んでいます。部員達には大いに悩んでがんばってほしいと思います。高校バレーは 3 年間とあっという間ですが、その中で目には見えない宝物をたくさん手に入れることができた、そんなチームになるために、これからもより一層選手とともにがんばっていきたいと思っています。



■女子バレーボール部

顧問 福田 圭一

女子バレーボール部は、金城高校時代から歴代の顧問の先生が熱心に指導されてこれ、過去には県大会優勝の経験もある歴史と伝統のあるチームです。（昭和 20 年代後半～ 40 年）

現在は、私、福田が顧問になりはや 16 年が過ぎました。その間、部員たちの頑張りと多くの卒業生の方々のご指導やご支援、保護者の皆様の応援を賜り、全国高校総体（インターハイ）石川県予選・新人大会・バレーボール祭・春高バレーという県内大会の全ての大会において準優勝することができました。近年では、北信越大会の出場が 20 回を超え、3 位など上位進出を果たせるようになってきました。また石川県全域から生徒から生徒は通学しています。（昨年度は第一体育館の改修工事がありコートが 1 年間使えませんでした。しかし、1 年かけて完成した新体育館は立派なもので充実した活動がまたできる事に喜びを感じています。）



チームは持ち味である仲の良さと、ここという時の爆発力、アイデアと工夫のある精度の高いバレーを目指して活動しています。近年では春高バレーの代表決定戦進出が定着した感がありますが、まだ悲願達成には至っていません。しかしやってきたことに、間違いはなかったと感じています。それは学校生活や卒業後の彼女たちから十分に伝わってきます。知恵を絞り、取り組み方を工夫し努力すれば、オレンジコートは夢じゃない！。常に生徒たちと熱く、今年は大目標を“本気 全力 その先にあるもの”と決めました。今年の 3 年生は人数も 4 人と少なくまた低身長です。昨年はスタートのメンバーが全員上級生だったこともあり、心配されましたが、しっかりと上位をキープし 2 度の北信越出場としました。現在は春高バレーに向け汗を流しております。下積みが多かった学年ですので特に、最後は“遊学バレー”を謳歌し、結果に繋げてもらいたいです。中学生の皆さん、是非、新体育館と共に石川のバレー史に新しいページを刻みませんか。遊学館で青春を謳歌しましょう。



■男子バスケットボール部

顧問 吉田 昌史

3 年生にとって最後となる夏の大会高校総体は、大聖寺実業高校との 1 回戦を勝利し、2 回戦、津幡高校に敗退しました。勝つチャンスがあった津幡高校とのゲーム、最後まで元気にチームメイトが応援してくれる中、残り 5 分でディフェンス

から仕掛け逆転を狙いプレーする3年生の姿を後輩達は忘れずに、これから充実した1年を送ってほしいものです。

応援して下さった皆様方、本当にありがとうございました。

現在、新チームは2年生18名、1年生25名の計43名。1年後の高校総体をチームが一回りレベルアップした形で迎えるべく、「ベストを尽くす！」を合言葉に、緊張感のある中、新チームの練習をスタートしました。新チームの選手自身の可能性を最大限引き出し、チーム目標を達成するべく、これからもより一層選手とともに頑張っていきます。今後ともご支援・ご声援よろしくお願いします。



■女子バスケットボール部

顧問 中田 浩文

平成29年4月に7名の新入生を迎え、2年生8名・3年生6名合計21名で、女子バスケットボール部は2017年度をスタートしました。

昨年新チームから各種大会において初戦敗退が続いておりますが、生徒たちは最後まで粘り強くプレーし、戦いました。

3年生を中心に生徒たちとともに闘うことができ、充実した時間を過ごすことができました。また、部活動にご理解とご支援いただいた保護者の皆様に感謝したいと思います。

現在は1・2年生の新チームで活動しておりますが、次の大会に向け、生徒たちとともに頑張っていこうと思います。

■テニス部

顧問 三浦 勝則・田中 真裕

今年度4月に男・女合計で14名の1年生が入部し、部員総数44人でスタートすることになり、それぞれの目標を立てて生徒達は取り組んでいます。1年生は基礎練習中心に精を出し、2・3年生は各大会で少しでもよい成績が残せるように、日々練習に励んでいます。

今年度の高校総体において、団体戦は男一回戦、女子2回戦敗退という結果になり、お互いに悔しい思いをしました。1・2年生の新チームとなった今、もう一度原点に戻って練習に励んでいます。決して上手なメンバーはいませんが、勝てなかった相手に今度は勝ちたいという思いで取り組みれば必ず報われる時がやってくると思います。



今まで足りなかった「明るく・楽しく・激しく」にしていくなかで部活動となるよう、まず大きな声を出せるようにしていきます。現在少しずつ元気な雰囲気を感じられ、技術も向上しているように感じます。男女共まだまだ粗削りな面が多々ありますが、互いに協力し合って頑張っていきます。

次の新人大会に向けて、1・2年生のメンバーと共に基礎練習中心に課題を克服していますが、高校総体より良い成績を残せるように日々精進していきます。

■バドミントン部

顧問 刑部 純至

バドミントン部は、男女ともに経験者から初心者までチームワーク良く、日々の練習に励んでいます。かつての金城高校時代は全国大会出場の常連で、全国チャンピオンを輩出(昭和33年)したこともある歴史と伝統を誇っています。

今年度は4月の金沢地区大会、6月の石川県高校総体ともに目標に届く結果とはなりませんでしたが、結果を受け入れ、反省し、新チームとなった今では新たな目標に向かって練習を重ねています。

日々の練習の中で、OB、OGをはじめ、外部からたくさんの方々練習相手になっていただいています。大人の方と関わることで、技術面はもちろんですが、目上の人に対する礼儀や、感謝の気持ちも育むことができています。この経験を通して人間的にも大きく成長してほしいと願っています。

合宿、遠征などでさらにチームを結束させ、よりよい人間関係を築けるように、心身共に強い人間になれるように、そしてなにより、勝負を勝ち取れるように、顧問一同全力で生徒をバックアップしていきたいと思っています。

今年6月からの新チームは、上級生が多く、チーム全体がまとまったチームになっています。目標をしっかりと持ち、礼儀の心を忘れず、日々練習に取り組んでいきたいと思っています。

言い尽くされた言葉ですが、練習で流した汗や涙、試合前のドキドキ感やワクワク感は、頑張って部活を続けた者だけが味わえる特権です。これからも、バドミントンが大好きで一生懸命に取り組める部員を集め、部旗に掲げた「一球入魂」、「不撓不屈」(あきらめないこと)の精神と感謝の気持ちを忘れず、さらに精進していきたいと思っていますので、よろしくお願いします。



■サッカー部

顧問 吉川 幹大・岸 玲衣

男女共学にとまって創部し、今年の部員数は104名です。

昨年はインターハイ予選でベスト16、全国高校サッカー選手権石川県大会で第3位でした。

今年は4月から始まった石川県U-18トップリーグにおいては、14試合中、7試合を終えて首位を走っております。これを維持し、優勝できるように日々、切磋琢磨していきます。

冬の全国高校サッカー選手権石川県大会こそ必ず石川県を制して、全国のピッチでどんな戦いができるかを最大の目標にこれから厳しい夏の暑さにも負けずに努力していきたいと思います。

このチームの成長はピッチ上だけではなく、学校で、家庭で、生活全体が前向きに進んでこそ大きな成果を得られると考えています。学校では先生方やクラスの仲間、家庭においては親御さんや兄弟、我々の周りにはたくさんの方々を支えられているということを再度確認し、この支えていただいている方々に対しての感謝の気持ちを忘れることなく、これまでの経験の集大成として部員104名が一枚岩となり全国大会出場を果たしたいと思います。

■男子駅伝競走部

顧問 森賀 康裕

男子駅伝競走部は、2007年4月に創部され今年11年目を迎えるようとしています。現在、部員は24名で全国高校総体、全国高校駅伝での上位進出を目標に厳しい練習に励んでいます。

昨年11月6日に行われた石川県高校駅伝競走大会では、8年連続9回目の優勝をすることができました。全国高校駅伝では1区、23位とスタートからますますの流れでしたが最終的に34位と力を出し切る事ができませんでした。

また今年度、石川県高校総体では5000mで1, 2, 5位になるなど順調に力をつけてきています。この走りを秋の駅伝につなげていければと思っています。

昨年の結果に満足せず、応援して下さる保護者の方々、学園の諸先生方のためにも全国高校駅伝に出場し、みなさんに元気を与えられる走りができるよう生徒達と力を合わせ、目標に向かって頑張っていきたいと思っています。これからもご支援のほどよろしくお願いいたします。



■女子駅伝競走部

顧問 尾谷 力

「夏を制する者が駅伝を制する。」

皆さん、こんにちは。私たち女子駅伝競走部は3年生3人、2年生6人、1年生5人の合計14人で活動しています。部活動名は駅伝競走部ですが、短距離、投擲、障害種目に加え、最近では競歩に取り組んでいる選手もいます。

特に競歩に取り組む3年生の吉田優海さん（中能登中学校卒業）は昨年の全国高校総体（岡山市開催）で7位に入賞し、さらに岩手県北上市で開催された国民体育大会でも成年選手に交じって7位に入賞する成績をおさめています。

このように個人で活躍する選手に勢いをもらい、毎年11月の第1日曜日に小松ドームで開催される石川県高校女子駅伝競走大会でも優勝することができ、年末に京都市で開催される女子全国高校駅伝にも12回目の出場を果たし、36位でゴールすることができました。

今年度も県内のライバル校には有力な中学生がたくさん入学し、春の高校総体では思うような成績を残すことができませんでした。しかし、先輩から受け継いできた「夏を制する者が駅伝を制する。」の伝統を合言葉にこれから向かえる暑い夏の、暑い練習を乗り越え、多くの皆様に良いご報告ができるように頑張りたいと思います。ご声援、よろしくお願いいたします。

■硬式野球部

顧問 中川 光雄

【過信を自信へ】

第136回北信越地区高等学校野球石川県大会において、2回戦寺井高校に7対0の7回コールド負けを喫した。これは17年目を迎える野球部の歴史上、初の県大会コールド負けである。

昨夏にスタートしたこのチーム。はっきり言って技術力は例年より劣っていた。しかし、絶対に負けたくないという精神力は、過去のチームに比べても引けを取



ることはなかった。ただ、成長していくうえで一番大切になってくるであろう『継続する力』が足りない。足りなすぎる。

日によってはとても良い練習をするチームであるが、少し結果が出るとすぐに練習がおろそかになる。これまでの結果がそれを物語っている。

世間から前評判で弱い弱いと言われることが悔しくて、夏休みの初めは必死に練習した。そして、ローカル大会ではあるが、今春県大会を制した金沢高校を倒し、優勝した。自分達でも勝てるじゃないかと思った途端に、練習がおろそかになった。厳密にいうと練習をただこなしてしまう。そして、シード決めの大会が始まり、公立高校に敗退した。ノーシードで秋の県大会を迎える結果になった。この負けの恥ずかしさからまた必死に練習した。秋の県大会では、優勝した航空石川高校に1点差で敗れたが、ベスト4で春のシード権を獲得した。遊学館の名に恥じない戦いができた。

しかし、この結果が彼らにとっていちばん良くなかったのではないか。過信につながったのではないか。例年、冬場のトレーニングで一段と成長する個人の能力が今ひとつあがらない。チームとして戦う集団づくりにおいては、3年生が中心となって築き上げていくものをすべて他人任せにし、冬場の練習をただこなしてしまった。春の県大会の結果は対戦相手がどうであれ、同じような結果が出ていたはずだ。

2度あることは3度あるのか、3度目の正直になるのか。すべては自分たち次第だ。

これからの練習にこの夏の結果があらわれる。

■剣道部

顧問 高橋 裕也

剣道部は日頃の稽古を有意義に行うことに重きをおいて活動しています。今年度の総体は女子のメンバーが揃いませんでしたが、何とか一回戦で勝つことができました。今年度も経験者だけではなく、初心者が入部してきました。今年度は新しい体育館ができ、今まで以上に良い環境で稽古ができております。

剣道部は本校において唯一の武道の部活です。剣道の技術だけではなく、身だしなみや礼儀作法などでも成長できる部活動を目指しております。剣道部の手ぬぐいには「雲外蒼天」の文字が入っております。これは、「困難を乗り越え、努力すれば快い青空が望める」という意味です。部活動だけではなく、学業面も疎かにならないようにしており、特別進学クラスに所属して文武両道を目指している生徒もおります。剣道を通して人間として成長するべく、日々の稽古に励んでおります。



■応援団

顧問 初道 次郎・谷内田京子・阿久津 光

今年度は3年生3名2年生7名1年生6名の部員で活動することになりました。昨年は、硬式野球部の県大会の全校応援がスムーズに行なえるよう、裏方の仕事に取り組みました。また、12月に行われた全国高校駅伝には男女駅伝競走部が出場し、西京極競技場に横断幕をかけ、都大路で大きな声で応援をしました。

今年度も愛校心を持ち、心をひとつに色々な部活動の応援をしていきたいと思います。

■吹奏楽部

顧問 大嶋 直樹

春から遊学館吹奏楽部を大きく成長させてくれる貴重な本番が続いた。本校バトントワリング部と共演して初出演した第66回金沢百万石まつり音楽パレードでは、チーム遊学館の持つパワーや魅力を伝えることができ、また沿道のたくさんのお客様の笑顔と声援は初出演だった私たちには大きな励みとなり、パレード終了後には心地よい疲労感と達成感を味わえた本番となった。もう一つは第28回全国「みどりの愛護」のつどいでは、皇太子殿下の前で演奏させていただき、本番では想像以上の責任の重さを感じながらも、遊学館らしい力強く統一感のある音楽を力一杯演奏することができた。一つ一つの本番で得た貴重な経験をこれから続くコンクールや演奏会につなげて、これまで以上にたくさんのお客様の心に届く音楽を、全員で力を合わせて創り上げたい。

■合唱部

顧問 加藤 道子

合唱部では「心を奏でる 心で奏でる」をモットーにして、日々練習に取り組んでいます。一人ひとりがもっている力を発揮することで厚みのあるハーモニーにしていけるよう努力しています。今年度は美しいアンサンブルにしていこうという目標とソロ(独唱)で歌う力を高めるためにソロコンテストにも参加するという2つの目標に向かって力を合わせていきます。また、金城大学短期大学の幼児教育コースの学生の皆さんと年に数回、合同合唱する機会もあり、その貴重な機会も大切にしたいと考えています。

■文芸部

顧問 中村 ゆかり

現在文芸部は、2年生3名・3年生1名で火・水を中心に活動しています。

少人数ですが積極的に活動に取り組んでおり、昨年度に続いて「白梅通信」も充実させていこうと意欲を見せてくれています。また、今年度も6月に開催される高文連主催の創作研修会に参加する予定で、生徒達は昨年の経験をもとに、研修会での更なる自身の成長を楽しみにしています。今回の研修会での経験を活かして創作意欲を高めるとともに、今後の活動に繋げていってほしいと思います。あわせて夏期休業中に開催される中学生の部活動体験入学にも参加を予定しています。初の参加ではありますが、中学生の皆さんに楽しんでもらえるような企画を準備しています。今後もより一層良い活動ができるように頑張っていきたいと思っています。

■茶道部

顧問 道上 ちひろ

茶道部は裏千家の大島先生を講師としてお迎えし、稽古を行っています。今年度は新たに5名の生徒が入部し活動をしています。6月には白山市にある千代女の里俳句館で行なわれた高文連の茶道部茶会に参加しました。そこでは茶会だけではなく、県内各地の高校から集まった茶道部の生徒たちとの交流も図ることができました。今後も茶会に参加するなど、活発な活動をしていきたいと思っています。

■美術部

顧問 五嶋 祐佳・光谷 和子

美術部は週に3回、設備に恵まれたアトリエで個々の個性を尊重した制作に励んでいます。主な活動は、年に2回ある総合文化祭の展示に向けて日々の制作活動をしています。

定期的に人物クロッキー会やスキルアップ講座、美術鑑賞などを行い、各自の技術と感性を磨いています。

また、美術系への進学や就職を考えている学生には、より専門的な美術の知識や受験用の技術を習うこともできます。

・・・さあ、遊学館から世界の舞台へ、積極的にアートを発信していきましょう！



■クッキング部

顧問 加藤 道子

クッキング部では、「生活に生かせる力」をモットーにして取り組んでいます。実際にバランスのとれた日々の食生活に生かせる献立に挑戦しています。短時間で、手際よく、美味しい食事にするために腕を磨いていきたいです。また、料理をする準備、素材選び、段取り、盛り付け、後片付けなど食生活にかかわる全ての過程を大切にしたい実践力を身に付けていきたいと考えています。



■英語部

顧問 山本 裕美

英語部は現在3年生7名、2年生4名、1年生3名の計14名で毎週水曜日と金曜日の放課後に活動をしています。

主な活動は、英語検定試験に向けての対策や授業の復習を行い定期試験に反映するような学習を行っています。また月に2回、金城大学短期大学部からネイティブの先生を迎えて、英語を使っのゲームや楽しい活動を行っています。

みんな和気あいあいと楽しく積極的に英語の勉強をしています。少しでも英語に興味を持てるように取り組んでいきたいと思っています。

■パソコン部

顧問 小坂 英洋

パソコン部は毎週水曜日に第一コンピュータ室で活動しています。活動はパソコン検定を主に、各自が目標を持って行っています。

活動内容は、パソコン検定はワープロや表計算、プレゼンテーションなどの検定試験に向けた練習を行い、パソコン検定以外にもゲームプログラミングなどをする部員もいます。

また、2 学期から 3 学期にかけて「ざぶん賞」という小・中学生の作文コンテストの応募作品をワープロ入力をするボランティアにも参加しており、毎年主催者からボランティア認定証を受領しています。

今後も一人ひとりの技術の向上と、目標の達成に向けて頑張っていきます。

■インターアクト部

顧問 川尻 慶之・小坂 英洋

インターアクト部は現在 31 名で毎週火曜日に活動しています。主な活動は、学校周辺や犀川河川敷などでゴミを拾うクリーンキャンペーンです。また、赤い羽根共同募金などの募金活動も行っています。

6 月には高校の近辺にある鈴木大拙館を見学しました。近年多くなっている観光客への道案内や内容説明などに貢献したいと思っています。今後も市内の観光・見学地で学習をしたいと考えています。

夏期休暇中には学童施設の訪問ボランティアや福祉施設のお祭りに参加し、児童や施設の方に喜んでいただきました。

8 月に広島県で行われた全国高校総合文化祭ボランティア部門に、石川県代表として 2 名が参加し、全国の代表者と意見を交わしました。

10 月には金沢マラソンの沿道ボランティアをし、ランナーや沿道で応援する方々の安全を見守りました。

11 月から 1 月にかけて、小・中学生の水に関する作文コンテスト「ざぶん賞」の応募作品をパソコンに入力するボランティアにも参加しています。今年で 10 年目を迎えます。

毎年 3 月には海外研修があり、今回は台湾研修旅行として 2 名が参加しました。台湾の高校生との交流を通して、異文化に触れる貴重な体験をしました。

今年度から、ペットボトルキャップの収集やポリオ撲滅のための募金、手話の学習など、幅広い活動を計画しています。

今後も活動をさらに活発にし、社会貢献と国際交流に努めていきたいと思っています。



鈴木大拙館にて



福祉施設のお祭り



台湾研修旅行



金沢マラソン

平成 28 年度 金城学園財務概要

事業活動収支計算書

(単位：千円)

科 目		金 額
教育活動 収支	教育活動収入計	3,743,429
	教育活動支出計	3,616,773
	教育活動収支差額	126,657
教育活動 外収支	教育活動外収入計	3,485
	教育活動外支出計	25,205
	教育活動外収支差額	- 21,720
経常収支差額		104,937
特別収支	特別収入計	135,367
	特別支出計	6,066
	特別収支差額	129,301
基本金組入前当年度収支差額		234,238
基本金組入額合計		- 267,070
当年度収支差額		- 32,832

*詳しくは、金城学園ホームページ (<http://www.kinjo.ac.jp/>) をご覧ください。

貸借対照表

(単位：千円)

資産の部		金 額
科 目		金 額
固定資産		10,331,750
有形固定資産		9,813,676
特定資産		430,583
その他の固定資産		87,491
流動資産		2,450,325
資産の部 (合計)		12,782,075
負債の部		金 額
科 目		金 額
固定負債		1,992,466
流動負債		761,811
負債の部 (合計)		2,754,277
純資産の部		金 額
科 目		金 額
基本金		13,851,933
繰越収支差額		- 3,824,135
純資産の部 (合計)		10,027,798
負債及び純資産の部 (合計)		12,782,075



発行

学校法人 金城学園
遊学館高等学校

〒920-0964 金沢市本多町2丁目2番3号
TEL076-262-8484 FAX076-222-6366
Homepage <http://www.yugakkan.jp/>
E-mail info@yugakkan.jp

